

GIS資格認定制度に関するお知らせ

平成21年3月

対外協力委員会

GIS資格認定協会における「専門技術者認定」申請に当たっては、(社)リモートセンシング学会のCPDポイントも評価適用対象(換算ポイントは別添表を御参照下さい)となりますので、その旨記載する事が出来ますので、お知らせいたします。

<http://www.soc.nii.ac.jp/gisa/gisca/index.html>

以上

(社)日本リモートセンシング学会が認証する継続教育プログラムとCPD単位					GIS資格認定協会が認定するポイント			
形態区分	継続教育プログラム(活動内容)	時間重み係数	CPD単位 (H実際に費やした時間)	上限単位	* 継続教育証明書の発行方式 (証明書は希望者にのみ発行)	区分	重み係数	ポイント
I、講演会、講習会、研究会、シンポジウム等への参加(受講)	①、年次学術講演会、シンポジウム等への参加	1	1×H		会場で本人に発行	教育達成度:会議出席ポイント	0.1	1×参加した日数
	②、講習会、研究会等への参加	1	1×H		研究会以外は会場で本人に発行 研究会は4月に前年度分を纏めて発行	貢献達成度:その他のGISに関する貢献 Y.イベントへの参加		1
II、論文等の発表	③、年次学術講演会、シンポジウム等での口頭発表		** 口頭発表者 6/編 ポスター発表 (筆頭著者) 6/編		会場で本人に発行	教育達成度:会議出席ポイント	0.1	1×参加した日数
	④、年次学術講演会、シンポジウム等での座長		*** 4/セッション		会場で本人に発行	貢献達成度:GISに関する学会での発表 T.学会発表		1/編
	⑤、日本リモートセンシング学会誌への論文投稿(査読つき論文)		筆頭著者 40/編 連名者 20/編		4月に前年度分を纏めて発行	教育達成度:会議出席ポイント	0.1	1×参加した日数
	⑥、日本リモートセンシング学会誌への執筆(技術報告、解説等)		筆頭著者 10/編 連名者 5/編		4月に前年度分を纏めて発行	貢献達成度:GISに関する会議への参加 Q.会議議長		4/セッション
	⑦、講習会、研修会等での講師(学会主催)	3	3×H	10/件	会場で本人に発行	貢献達成度:GISに関する学会での発表 C.査読論文		5/編
	⑧、論文等の査読(学会の依頼があるもの)		10/編		4月に前年度分を纏めて発行	貢献達成度:GISに関する学会での発表 G.雑誌・論文集の記事 H.雑誌・論文集の論説		3/編
III、技術指導	⑨、学会賞受賞		功績賞 対象外 論文賞 40/件 論文奨励賞 20/件 優秀論文発表賞10/件 (筆頭著者)		4月に前年度分を纏めて発行	貢献達成度:GISに関するワークショップ開催 S.ワークショップでの講師		3
IV、産業界における業務経験	⑩、理事会、委員会等への出席(議長、委員長)	2	2×H (1会議、1委員会活動当たり)	40/年	4月に前年度分を纏めて発行	貢献達成度:GISに関する技術者団体への参加 N.委員長		3×経験年数
	⑪、理事会、委員会等への出席(委員、監事)	1	1×H (1会議、1委員会活動当たり)	20/年	4月に前年度分を纏めて発行	貢献達成度:GISに関する技術者団体への参加 O.委員		2×経験年数
	⑫、技術図書編集・執筆		編集者・監修 10/編 執筆者 3/編	40/年	その都度出版時に本人に発行	貢献達成度:GISに関する技術者団体への参加 A.書籍の著者/編者		15/編
	⑬、自己学習(学会誌購読)		5/年		4月に会費納入確認し前年度分を学会誌に同封	貢献達成度:GISに関する技術者団体への参加 P.会員		1×経験年数
<p>* 証明書の発行は、年間を通して継続的に開催され、参加者が固定的なプログラムには1年分纏めて発行を原則とし、単発的で参加者も非固定的なプログラムには開催時毎の発行を原則とする</p> <p>** ③のCPD単位は①のCPD単位に加算可</p> <p>*** ④のCPD単位は①のCPD単位に加算可</p> <p>平成19年3月22日制定 平成19年4月 1日施行</p>						<p>①、②、③、④は教育及び貢献の両方にカウントできる。</p> <p>④Q.会議議長はこの場合座長を示す。</p>		